

Ⅱ 農場運営

1 総務事項

1) 人事異動

2022. 4. 1 採用
兒玉 真紀:唐湊果樹園技術職員
2022. 9.30 辞職
関 綾子:入来牧場技能補佐員
- 2022.10. 1 採用
関 綾子:入来牧場特任専門員
2023. 3.31 退職
鎌田 耕一:農場事務係再雇用職員

2) 技術職員研修

農場実習の高度化および充実を図るためには、技術職員の資質向上が不可欠である。農場では技術職員の資質向上を最重要課題と位置づけて、以下のような各種の研修を実施した。

(1) 伐木等業務（チェーンソー等）特別教育講習

- 時 期：令和4年6月1日～3日
場 所：伊佐森林組合（伊佐市）
研修者：指宿植物試験場 松元里志技術専門職員

(2) 車両系建設機械（整地・運搬・積込み用及び掘削用）運転技能講習

- 時 期：令和4年6月20日～21日
場 所：鹿児島教習所（鹿児島市）
研修者：入来牧場 飯盛葵技術職員、同 関綾子技能補佐員

(3) 食品衛生責任者養成講習会

- 時 期：令和4年7月20日
場 所：南薩地域振興局指宿庁舎（指宿市）
研修者：学内農事部 野村哲也技術専門職員、唐湊果樹園 西澤優技術専門職員

(4) 車両系建設機械（整地・運搬・積込み用及び掘削用）運転技能講習

- 時 期：令和4年9月5日～9日
場 所：鹿児島教習所（鹿児島市）
研修者：唐湊果樹園 兒玉真紀技術職員

3) 農場施設の利用

農場では、学外・内を問わず広く施設の利用を受け入れている。

(1) 学外

(学内農場農事部)

- ・鹿児島大教育学部附属小学校 105名
時期：令和4年4月7日～21日
内容：田んぼや畑にいる生き物と触れ合う活動を通して、季節の特徴的な事物や現象に気付き、季節感を養う
- ・鹿児島大教育学部附属小学校 105名
時期：令和4年5月30日～6月13日
内容：田んぼや畑にいる生き物と触れ合う活動を通して、季節の特徴的な事物や現象に気付き、季節感を養う
- ・鹿児島大教育学部附属小学校 112名
時期：令和4年6月3日
内容：田んぼや畑にいる生き物と触れ合う活動を通して、生き物のイメージを膨らませたり特徴を捉えたり、後に膨らませたイメージや捉えた生き物の特徴を絵に表す
- ・鹿児島大教育学部附属小学校 105名
時期：令和4年6月22日～7月6日
内容：田んぼや畑にいる生き物と触れ合う活動を通して、生き物の面白さや不思議さを味わい、育てる生き物に愛着を持って接する

- ・KTS 鹿児島テレビ制作部 4名
時期：令和4年7月7日
内容：鹿児島伝統野菜の採種風景撮影のため
 - ・鹿児島大教育学部附属小学校 105名
時期：令和4年8月23日～9月9日
内容：田んぼや畑にいる生き物と触れ合う活動を通して、季節の特徴的な事物や現象に気づき、季節感を養う
 - ・鹿児島大教育学部附属小学校 105名
時期：令和4年10月24日～11月11日
内容：田んぼや畑にいる生き物と触れ合う活動を通して、季節の特徴的な事物や現象に気づき、季節感を養う
 - ・鹿児島大教育学部附属中学校 5名
時期：令和4年10月25日、26日
内容：キャリア教育の一環として職場体験学習を行う
 - ・琉球大学農学部職員 2名
時期：令和4年10月31日
内容：学内農場の見学
 - ・鹿児島大教育学部附属小学校 105名
時期：令和5年1月16日～1月31日
内容：田んぼや畑にいる生き物と触れ合う活動を通して、季節の特徴的な事物や現象に気づき、季節感を養う
 - ・鹿児島大教育学部附属小学校 105名
時期：令和5年3月8日～3月23日
内容：田んぼや畑にいる生き物と触れ合う活動を通して、季節の特徴的な事物や現象に気づき、季節感を養う
- (動物飼育棟 (学内畜産部))
- 該当なし
- (唐湊果樹園)
- ・福島大学農学群教員 1名
時期：令和4年8月29日
内容：農作物アレルギーマップ作成のため。具体的にはモモを中心に作業者のアレルギー被ばくというテーマでサンプリングをおこなっており、唐湊果樹園ではアーモンドの植物体の一部を採取する
 - ・琉球大学職員 2名
時期：令和4年10月31日
内容：唐湊果樹園の見学
 - ・鹿児島大教育学部附属幼稚園 57名
時期：令和4年11月2日
内容：みかんの収穫体験を通して、果実の色味の違いや茎、葉の様子に着目する機会を設ける
 - ・農研機構西日本農業研究センター 4名
時期：令和4年12月9日
内容：果樹研究に関する視察
 - ・民間企業 (やさしい世界) 4名
時期：令和4年12月26日
内容：唐湊果樹園植栽の鹿児島等在来カンキツ類の見学
 - ・鹿児島県加世田常潤高等学校 16名
時期：令和5年3月10日
内容：加世田川畑地区原産の川畑ミカンの復活に取り組んでいる。唐湊果樹園の川畑ミカンの分譲と視察
- (指宿植物試験場)
- ・慶尚国立大学 (体感民国) 教員 1名
時期：令和4年8月3日
内容：マンゴーの品質管理に関する研究を行っており、生産現場視察のため。また、多数の品種を栽培していることから、栽培管理方法や品種情報についての意見交換
 - ・福島大学農学群教員 1名
時期：令和4年8月29日
内容：農作物アレルギーマップ作成のため。具体的にはモモを中心に作業者のアレルギー被ばくというテーマ

Ⅱ 農場運営

マでサンプリングをおこなっており、指宿植物試験場ではマンゴーの植物体の一部を採取する

- ・タイ王国メジョー大学教職員 4名
時期：令和4年12月27日
内容：学術交流協定校であるメジョー大学学生の研修を令和5年3月に行う予定である。その事前調整に研修先予定施設の確認を行うための視察
- ・鹿児島地方気象台 7名
時期：令和5年1月26日
内容：19型アメダス気象計更新工事
- ・タイ王国メジョー大学 17名
時期：令和5年3月20日
内容：タイ王国メジョー大学から教員・学生など15名の研修を受け入れ、マンゴー園・畑などを見学・説明
- ・鹿児島地方気象台 7名
時期：令和5年3月28日
内容：指宿地域気象観測所の管路敷工事

(入来牧場)

- ・(株)川北電工 10名
時期：令和4年7月14日～8月9日
内容：牧場内の送電鉄塔 (No.73) のボルト取り換え及び鉄塔敷地・巡視路の除草作業
- ・鹿児島県教育委員会 (中高生インターンシップ事業) 4名
時期：令和4年8月1日～3日
内容：入来牧場における黒毛和種の飼養管理、草地管理など肉牛生産の基礎事項を体験することを通して、将来の社会参画への意義を体験的に自覚させ、学習意欲の向上を図る
- ・鹿児島大学生協同組合 5名
時期：令和4年8月30日～31日
内容：牧場体験
- ・(株)川北電工 18名
時期：令和4年9月5日
内容：牧場内の送電鉄塔 (No.73) のボルト取替作業
- ・(株)川北電工 15名
時期：令和4年9月23日～26日
内容：牧場内の送電鉄塔 (No.73) のボルト取替作業
- ・葦崎高校 30名
時期：令和4年12月9日
内容：葦崎高校のスーパーサイエンスハイスクール事業の一環として、入来牧場内に設置されている1m光赤外線望遠鏡の見学
- ・ミヤリサン製薬株式会社 13名
時期：令和5年2月17日
内容：入来牧場見学
- ・麻布大学 2名
時期：令和5年2月22日
内容：入来牧場視察
- ・(株)九南送電工事部 2名
時期：令和5年2月24日
内容：牧場内の送電鉄塔 (No.73) のメンテナンス作業
- ・(株)九南送電工事部 2名
時期：令和5年3月29日
内容：牧場内の送電鉄塔 (No.73) のメンテナンス作業

(2) 学内

(学内農場)

令和4年

4月21日

5期開講の「水土実験」において、畑地における水の浸透具合の調査及び前記試験の保水

性・排水不良による表面流去の危険性の調査 (22名)

(学内農場畜産部)

該当なし

(唐湊果樹園)

令和4年

5月9日～12月31日 ウメ、スモモ、カキ、かんきつ類の近くに固定カメラを設置し、収穫前まで一定間隔で撮影。撮影画像による果実肥大の追跡調査。収穫時の等級、収穫適期の推定調査 (4名)

5月20日、27日 農林環境科学科・暖帯林実習で、樹種の同定実習 (18名)

5月21日 農林環境科学科森林科学コース・森林計測学実習における、斜面上でのコンパスによるトラバース測量の実習 (37名)

6月20日～令和5年3月31日

農作物被害の実態を明らかにするための、自動撮影カメラの設置 (2名)

7月7日 動物調査のためのセンサーカメラ設置 (3名)

7月14日 動物観察のためのセンサーカメラ設置。アナグマの穴の分布調査 (3名)

8月26日 アナグマ調査のために設置しているカメラデータ回収。巣穴の計測 (2名)

8月30日 アナグマの生息状況調査。センサーカメラのメンテナンス及び巣穴の計測 (2名)

10月5日 土壌pHの違いがパッションフルーツの栄養成長等に及ぼす影響調査 (1名)

10月5日 アナグマの生息状況調査。巣穴の計測 (2名)

11月2日 アナグマの生息状況調査。巣穴の計測 (1名)

11月21日 アナグマの生息状況調査。センサーカメラのメンテナンス (1名)

12月23日 アナグマの生息状況調査。センサーカメラのメンテナンス (1名)

令和5年

1月5日～31日 土壌pHの違いがパッションフルーツの栄養成長等に及ぼす影響調査 (1名)

1月7日 森林環境科学特別講義で生物観察を行うため。(7名)

2月8日 モモを用いて、少低温要求性品種の生育特性の調査 (1名)

2月13日～28日 モモを用いての、少低温要求性品種の生育特性を調査
花芽と葉芽の発芽調査および開花調査 (1名)3月1日～31日 モモを用いて、少低温要求性品種の生育特性を調査する
花芽と葉芽の発芽調査および開花調査 (1名)

3月1日～31日 アーモンドの生育特性の調査 (1名)

(指宿植物試験場)

令和4年

4月24日 遺伝資源保存用のヤマイモおよびウコンの定植 (8名)

4月27日 クサトベラの開花状況と生育状況のチェック、肥料の散布 (1名)

6月1日 遺伝資源保存用ヤマイモ圃場の支柱立てと除草作業 (5名)

7月10日～11日 マンゴー鉢植个体を使って、環境ストレスがマンゴーの花芽分化に及ぼす調査 (1名)

7月19日 遺伝資源保存用ヤマイモ圃場の除草作業 (4名)

8月5日 ロゼルの定植 (3名)

8月30日～31日 マンゴー鉢植个体を使って、環境ストレスがマンゴーの花芽分化に及ぼす調査 (1名)

9月4日 クサトベラの手入れ(枝打ち、肥料の散布) (2名)

9月29日～30日 マンゴー鉢植个体を使って、環境ストレスがマンゴーの花芽分化に及ぼす調査 (1名)

10月24日～26日 マンゴー鉢植个体を使って、環境ストレスがマンゴーの花芽分化に及ぼす調査 (1名)

10月24日 マンゴー調査のための資材搬入 (2名)

11月1日 マンゴー調査に関する気象観測用データロガーのデータの回収 (2名)

11月21日 マンゴー調査に関する気象観測用データロガーの動作確認及び調整 (1名)

11月22日 農林環境科学科スマート農学概論での現地見学 (27名)

11月25日～26日 マンゴー鉢植个体を使って、環境ストレスがマンゴーの花芽分化に及ぼす調査 (1名)

11月26日 保存用ヤマイモおよび収穫・調査 (7名)

11月29日～30日 マンゴー鉢植个体を使って、環境ストレスがマンゴーの花芽分化に及ぼす調査 (1名)

12月7日～9日 マンゴー鉢植个体を使って、環境ストレスがマンゴーの花芽分化に及ぼす調査 (1名)

12月14日 マンゴー鉢植个体を使って、環境ストレスがマンゴーの花芽分化に及ぼす調査 (2名)

12月15日 マンゴー鉢植个体を使って、環境ストレスがマンゴーの花芽分化に及ぼす調査 (1名)

II 農場運営

12月17日	ロゼルの生育調査（1名）
12月22日～23日 令和5年	マンゴー鉢植个体を使って、環境ストレスがマンゴーの花芽分化に及ぼす調査（1名）
1月5日～31日	マンゴー鉢植个体を使って、環境ストレスがマンゴーの花芽分化に及ぼす調査（1名）
1月25日～27日	マンゴー鉢植个体を使って、環境ストレスがマンゴーの花芽分化に及ぼす調査（1名）
2月9日～10日	マンゴー鉢植个体を使って、環境ストレスがマンゴーの花芽分化に及ぼす調査（1名）
2月13日～28日	マンゴー鉢植个体を使って、環境ストレスがマンゴーの花芽分化に及ぼす調査（1名）
2月27日～28日	マンゴー鉢植个体を使って、環境ストレスがマンゴーの花芽分化に及ぼす調査（1名）
3月1日～31日	マンゴー鉢植个体を使って、環境ストレスがマンゴーの花芽分化に及ぼす調査（1名）
3月27日～28日	マンゴー鉢植个体を使って、環境ストレスがマンゴーの花芽分化に及ぼす調査（1名）
(入来牧場)	
令和4年	
4月13日	発掘調査の見学（1名）
4月15日	シカのライトセンサス（1名）
5月6日	シカのライトセンサス（1名）
6月2日	シカのライトセンサス（1名）
7月8日	シカのライトセンサス（4名）
8月10日	シカのライトセンサス（1名）
9月2日	シカのライトセンサス（1名）
10月7日	シカのライトセンサス（1名）
11月2日	シカのライトセンサス（1名）
令和5年	
1月5日	シカのライトセンサス（1名）
2月2日	黒毛和牛の口之島牛の血液に含まれる機能性蛋白質を精製し、その機能性を評価調査め（1名）
2月2日	シカのライトセンサス（1名）
3月4日	シカのライトセンサス（1名）
3月22日	牛の飼養されている施設および診療を行っている状況などを、360°カメラにより撮影し、DX事業の実習現場での活用性について調査（2名）
3月23日	アナグマ等野生動物児童撮影装置設置に関する事前調査（2名）

4) 刊行物

鹿児島大学農学部農場年報，第17号（2023.3）（2015年度から印刷物を廃止し，Webでの配信のみとした）
鹿児島大学農学部農場研究報告，第44号（2023.3）

5) 行事

7月4日 学内農場農事部お田植え祭

※本年度は，新型コロナウイルス感染拡大防止のため，以下行事の開催を見送った。

展示即売会

入来牧場牧神祭

唐湊果樹園収穫祭

6) 令和4年度全国大学附属農場協議会

(1) 春季協議会（オンライン開催）

日 時：令和4年5月13日

(2) 秋季協議会

日 時：令和4年9月15日（オンライン開催）

(3) 九州地域協議会及び技術職員教育・研究発表会（メール審議）

日 時：令和4年11月22日～12月13日

(4) その他 (表彰関係)

令和4年度全国大学農場技術賞 野村 哲也 (農事部技術総括)

受賞業績「暖地における遺伝資源植物を活用した栽培技術構築と教育・研究への貢献」

2 会計事項

1) 予算および決算

令和4年度の農場予算および決算は、第6表のとおりである。予算額102,577,000円に対し、決算額102,577,000円となり過不足額は生じなかった。

第6表 令和4年度予算および決算

(単位:円)

施設名	当初配分額	追加配分額 および振替額	予算額	決算額	差引過不足額
農場実習経費	0	0	0	0	0
農場実習支援経費	34,428,000	3,123,000	37,551,000	37,579,000	△28,000
農場運営経費	43,784,000	21,242,000	65,026,000	64,998,000	28,000
主事	0	0	0	0	0
植物部門主任	0	0	0	0	0
動物部門主任	0	0	0	0	0
合計	78,212,000	24,365,000	102,577,000	102,577,000	0

2) 機械、設備および備品

本年度は、施設ごとの機械、備品を中心に、第7表に示すように総額26,342,800円の予算を充当した。

第7表 令和4年度機械設備等の整備 (50万円以上 予算:自己収入、補助金、運営費交付金)

機械設備名	メーカー・規格	数量	金額 (円)	施設名
			586,080	
トラクター	ヤンマー YT233A	1台	(総額4,262,400 8年リース)	学内農事部
ビニールハウス ファインミスト	制御盤、送水ユニット、ファインノズル28個等含む	1台	1,650,000	学内農事部
HouseNAVI ADANCE モニタリングユニット	収納ボックス制御盤等含む	1台	2,200,000	学内農事部
電動マルチリモコン作業機スマモ	ササキ RS400-M2	1台	1,744,600	学内農事部
ぐっぴーバズーカシングルタイプ	KBHP-GP112-S2	1台	1,591,700	学内農事部
養液ユニット らくらく肥料管理機3	スーパーローリータンク500L 含む	1台	903,375	学内農事部
ラジコン草刈機	クボタ ARC-501	1台	1,303,500	唐湊果樹園
ヒートポンプぐっぴーバズーカ	別置型 BZ ツイン KBHP-GP180-T2	1台	1,864,500	唐湊果樹園
鹿兒島大学飼育牛画像解析システム		1台	14,499,045	入来牧場
合計			26,342,800	

3) 施設整備

(1) 学内農場農事部

数年前より、作物生産に配慮した輪作体系を組み、最低でも5年間の間隔をあけるようローテーションを組んでいる。また、単作にならないよう緑肥などと組み合わせ、耕種の防除を行っている。

施設に関しては、耐用年数を超えたハウスや硬質プラスチックハウスが存在し、部分的な補修を行い使用しているが、今後全体的な改修が必要と思われる。

(2) 唐湊果樹園

果樹園は敷地境界にフェンスを設置しているが、老朽化している箇所がみられることから、更新が必要である。また、敷地境界では、ゴミの投げ込みもみられることから対策もあわせて必要となる。

(3) 指宿植物試験場

ここ数年、施設の加温に利用している温泉量が減少傾向にあるため、一部の温室やハウスでは、従来の温度確保が難しくなってきた。一時的な現象かどうかを見極める必要があるが、平成20年度に導入された「省エネルギー型

生産技術開発システム」に利用する温泉量も減少しており、今後、湯量の確保に向けた方策が必要になる。更に、倉庫や堆肥置き場などの老朽化や大雨時の浸水などへの対策、管理棟浴室の改修が望まれる。

今年度、老朽化により温泉など水漏れをしていた熱交換器を新しいものに交換できた。その結果、交換できた温室やビニールハウスの暖房効果の向上が期待できる。管理棟の浴室改修も今年度行い、男子浴室の改修のほか、職員室を今までなかった女子シャワー室として新設した。更に、浴室改修に伴い事務室の改修も行い、面積を拡大した事務室兼職員室の改修も完了した。

(4) 入来牧場

入来牧場管理棟は、竣工（1968）後、50年を経過し、壁面の亀裂、雨漏りなど、老朽化が著しい状況であった。平成20年度には、平成19年度から繰り越した農場経費と大学本部経費により、女性用トイレと風呂の新設および職員室の改修を行ったものの、入来牧場管理棟2階部分（宿泊室、講義室）、1階部分（男子トイレ、風呂、食堂）および外壁の改修が課題として残っていた。平成29年度概算要求により、平成30年度の入来牧場管理棟全面改修工事が決定し、令和元年度に全面改修が完了している。一方で、現場の畜舎に関しては管理棟同様竣工後約50年を経過しているものの、改修の目途が立っていない。学生教職員の安全確保の観点からも、現場畜舎の概算要求による改修を引き続き申請している。

(5) 学内農場畜産部

動物飼育棟は築約35年を経過し、雨漏りが頻発していたため、これまで部分的な補修を繰り返してきた。しかし、部分的な補修では改善が見られないことから、平成23年度末に附属演習林から予算借入れを行い、屋根の全面補修を行った。その結果、雨漏りは止まったものの、建物本体の劣化および排水などの問題は依然として残ったままである。

3 各種会議および委員会

農学部は平成28年度（2016年度）に改組を行い新体制がスタートした。改組は学年進行であるが新組織に適応させるよう本農場の各種会議および委員会の構成員も変更を行った。

1) 農場会議

(1) 委員名簿（任期2年 2022年4月1日～2024年3月31日）

農場長（議長）	津田 勝男
農場主事	遠城 道雄
植物部門主任	朴 炳宰
動物部門主任	大島 一郎
応用植物科学コース	志水 勝好
応用植物科学コース	山本 雅史
応用植物科学コース	坂巻 祥孝
畜産科学コース	後藤 貴文
食料農業経済学コース	李 哉法
食料生命科学科	渡部 由香
農林環境科学科	神田 英司
総務課長	中村 智子

(2) 会議記録

第1回：令和4年7月4日（月）10時30分～10時50分

- 議題 1. 令和3年度附属農場決算（案）について
2. 令和4年度附属農場予算（案）について

報告事項

1. 令和4年度全国大学附属農場協議会秋季全国協議会について
2. 令和4年度全国大学附属農場協議会九州地域協議会及び技術職員教育・研究発表会について
3. 令和4年度第1回農場運営委員会の報告について

第2回：令和4年8月24日（水）～9月2日（金）（メール会議）

- 議題 1. 特任専門員の公募計画について
2. 特任専門員の採用計画について

第3回：令和4年9月9日（水）～9月2日（金）（Web会議）16時10分～16時40分

- 議題 1. 令和4年度後期農場実習（案）について

2. 附属農場施設等利用委員会委員長代行の選出について
3. 令和4年度後期農場施設等利用計画（案）について

報告事項

1. 令和4年度全国大学附属農場協議会九州地域協議会について
2. 次回本会議の開催について

第4回：令和5年1月23日（金）17時50分～18時30分

- 議題
1. 附属農場規則等の一部改正について
 2. 附属農場長候補適任者の選考について

報告事項

1. 委員の後任補充について
2. 令和4年度全国大学農場技術賞受賞者の決定について
3. 令和5年度展示即売会の開催中止について

第5回：令和5年3月1日（水）～令和5年3月6日（月）（メール会議）

- 議題
1. 特任専門員の採用（継続雇用）について

第6回：令和5年3月13日（月）～令和5年3月17日（金）（メール会議）

- 議題
1. 令和5年度前期農場実習（案）について
 2. 5年度前期農場施設等利用計画（案）について

2) 農場運営委員会

(1) 委員名簿（任期2年 2022年4月1日～2024年3月31日）

農場長（委員長）	津田 勝男
農場主事	遠城 道雄
植物部門主任	朴 炳宰
動物部門主任	大島 一郎
兼任教員	下田代智英
兼任教員	香西 直子
兼任教員	高山 耕二
農事部技術総括	野村 哲也
唐湊果樹園技術総括	福留 弘康
指宿植物試験場技術総括	谷村 音樹
入来牧場技術総括	富永 輝
総務課長代理	川崎 勇二（農場事務係長兼務）

(2) 委員会記録

第1回：令和4年6月27日（月）13時10分～13時50分

- 議題
1. 令和3年度附属農場決算（案）について
 2. 令和4年度附属農場予算（案）について

報告事項

1. 令和4年度全国大学附属農場協議会九州地域協議会及び技術職員教育・研究発表会について
2. 令和4年度全国大学附属農場協議会秋季全国協議会について
3. 各施設報告

3) 農場実習教育委員会（任期なし）

(1) 委員名簿

農場長（委員長）	津田 勝男
農場主事	遠城 道雄
植物部門主任	朴 炳宰
動物部門主任	大島 一郎
農業生産科学科 応用植物科学コース	下田代智英
〃	坂上 潤一
〃	一谷 勝之
〃	志水 勝好

II 農場運営

	〃	山本 雅史
	〃	香西 直子
農業生産科学科	応用植物科学コース	吉田理一郎
	〃	橋本 文雄
	〃	清水 圭一
	〃	坂巻 祥孝
	〃	李 哉法
	畜産科学コース	大久津昌治
	〃	三好 和睦
	〃	岡本 新
	〃	下桐 猛
	〃	高山 耕二
	〃	後藤 貴文
	〃	大塚 彰
	〃	井尻 大地
農林環境科学科	地域環境システム学コース	末吉 武志
先端科学研究推進センター		
	遺伝子実験施設	田浦 悟

(2) 委員会記録

第1回：令和4年9月5日（月）14時30分～14時45分（Web会議）

議題 1. 令和4年度後期農場実習（案）について

第2回：令和5年3月1日（水）～令和5年3月7日（火）（メール会議）

議題 1. 令和5年度後期農場実習（案）について

4) 附属農場施設等利用委員会

(1) 委員名簿（任期2年 2022年4月1日～2024年3月31日）

農場主事（委員長）	遠城 道雄
植物部門主任	朴 炳宰
動物部門主任	大島 一郎
応用植物科学コース	下田代智英
応用植物科学コース	一谷 勝之
応用植物科学コース	香西 直子
畜産科学コース	高山 耕二
食料生命科学科	樗木 直也
農林環境科学科	神田 英司

(2) 委員会記録

第1回：令和4年8月2日（金）

議題 1. 委員長代行の選出について

2. 令和4年度後期施設等利用計画（案）について

第2回：令和4年11月25日（金）～12月2日（金）（メール会議）

議題 1. 附属農場施設等利用に関する要項の一部改正について

第3回：令和5年3月2日（木）～3月7日（火）（メール会議）

議題 1. 令和5年度前期施設等利用計画（案）について

5) 農場研究報告編集委員会（任期2年 2022年4月1日～2024年3月31日）

(1) 委員名簿

農場主事（委員長）	遠城 道雄
応用植物科学コース	山本 雅史
応用植物科学コース	下田代智英
畜産科学コース	下桐 猛

食環境制御科学コース

赤木 功

(2) 委員会記録

第1回：令和4年4月13日（金）14時00分～14時40分

- 議題 1. 農場研究報告編集委員会委員長の選出について
- 2. 農場研究報告投稿規程及び原稿作成要領について
- 3. 鹿児島大学農学部農場研究報告原稿の募集について

第2回：令和4年11月7日（月）9時20分～9時35分

- 議題 1. 農場研究報告第44号受付原稿の査読者の選定について

6) 農場家畜防疫対策検討委員会（任期2年 2022年4月1日～2024年3月31日）

(1) 委員名簿

農場長（委員長）	津田 勝男
農業生産科学科畜産科学コース	三好 和陸
〃	大久津昌治
〃	高山 耕二
農場主事	遠城 道雄
植物部門主任	朴 炳宰
動物部門主任	大島 一郎
入来牧場技術総括	富永 輝
入来牧場管理獣医師	安藤 貴朗

(2) 委員会記録

(実施なし)

4 入来牧場における牛白血病ウイルス（BLV）清浄化の進捗状況

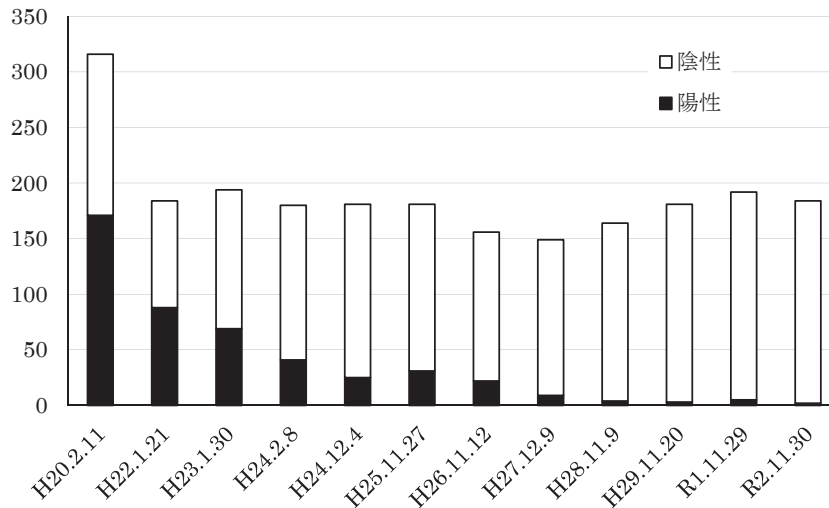


図1 牛白血病ウイルス保有率の推移

平成19年10月、入来牧場における飼養牛のBLV血清抗体価を調査した結果、検査頭数361頭のうち、陽性牛は210頭となり、全体の58%が牛白血病ウイルスに感染していることが判明した。この結果を受け、農場では平成20年1月以降、家畜防疫対策委員会を設置し、入来牧場の牛白血病ウイルス清浄化を、分娩管理および分離飼育の両側面から進めることを決定した。入来牧場では、直ちに清浄化対策を実施し、平成20年5月で陽性率51%、平成20年11月には陽性率は41%、平成24年12月には陽性率14%、平成25年11月の調査では陽性率17%、平成26年11月には陽性率14%となり、平成27年度以降の調査では陽性率が10%を下回って横ばいに推移した。その後、令和2年11月の調査では1%以下となり、令和3年7月および12月の検査ではいずれも0%であった。令和3年以降、毎年2回の血液検査において、いずれも0%であり、牛白血病の清浄化状態は維持されている。今後も、継続的な防疫体制を維持するとともに、定期的な血液検査を行っていく予定である。